

スズメバチにご注意を!



切株の根元にスズメバチの巣

山に限らず、市街地でも報告されるハチ被害。その中でも危険度が高いスズメバチの活性が高くなるのは、夏から秋にかけてです。体質によっては激しいアレルギーの症状（アナフィラキシーショック）で命を落とすことがあります。

もしスズメバチに出会ってしまったら？まずは慌てないことが一番！多くのハチが飛んでいる時は、見えなくても近くに巣がある可能性が高いのです。スズメバチは巣に近寄ってきたもの、急激に動くものを攻撃する習性がありますので、決して手で払ったり、走ったりせず、ゆっくりとその場を離れてください。

またスズメバチは黒っぽいものを攻撃する習性があります。登山時の服装は明るい色のものをおすすめします。化粧品など香りの強いものはハチを引き寄せたり、興奮させることがありますので、使用は控えてください。



オオスズメバチ



クロスズメバチ



休憩所にできた巣



危険な場合は一時的に使用中止に

ちょっと待った! その一步! 植物を痛めていませんか?



斜面に踏み出さずに植物を撮影する利用者

高尾山には植物観察や撮影を楽しみに来る方がたくさんいます。残念ながら撮影するために、野草の生育地に足をかけてしまう、または登山道を逸脱してしまうケースが見られることも多々あります。

「私ひとりくらい」と誰か一人が道を外すと、そこに踏み跡がつき、「ここに踏み跡がある、何かあるぞ」と、別の方たちが次々に続いていきます。こうした利用者の多い場所では踏み込みの繰り返しで新たな道ができ、その結果、野草の自生地が裸地化が進んでいくのです。

私たち東京都レンジャーは、①踏み外しをしないようにマナーをよびかける、②踏み込みの起こる所にはマナー看板を立てる、③ロープ柵の設置や石などを並べて登山道の境界を明瞭化させる、などの対応を行い、サポートレンジャーとも連携をしながら活動を続けてきました。

自然を守るためには、観察・撮影をされる側の方たちの配慮・意識が不可欠です。撮影や観察の際に一呼吸おいて、足もとをご覧になってみてください。皆さんの心掛けで、来年も美しい花たちが、きっと私たちを迎えてくれるはずです。



←踏み込みにより傷んだ植生

新レンジャー紹介★ よろしくお願ひします!

多摩 高尾地区担当 **ながの じゅんこ 長野純子**

7月1日より高尾地区配属になりました長野純子です。茨城県出身です。山が好きで色々な山域、岩、沢、様々な季節を登って行くうちに少し山と向きあう関係を深くして行きたいなと思い登山ガイドの資格を取得しました。休日も山を登っている事が多いです。

利用者の目からレンジャーの目へ! 私の経験が美しい東京の自然と繋がっていただけるように!! 楽しみでワクワクしています。



小笠原 父島担当 **やまぐち ちほ 山口千穂**

7月から小笠原地区の担当になりました山口千穂です。出身地は茨城県です。山登りが趣味で、テントを担ぎ色々な山に登っています。前職はアウトドアブランドの販売をしてました。

小笠原へは以前観光で行ったことがあり、たくさんの自然と触れあうことができ、多くの発見と出会いがありました。色々経験と勉強不足な面が多いですがどうぞ宜しくお願いします。

東京都レンジャーの業務

1. 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 2. 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 3. 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 4. 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551